

新宿駅南口付近 変貌

バスタ付近は、コーヒー屋だらけ

外資系 ・ 和風のコーヒー店を紹介



相続税申告は10月が最盛期。申告書作成ソフトがその時期に発売されるため。申告説明、はんこもらい、税務署提出、申告書控えを渡すなどの集中期。

相続税申告は、亡くなった方の住所地に提出しますので、相続人が東京在住なら、東京に説明に伺うこともあり、ついでに新宿駅南口を探索して来ました。従来の南口の代表店舗といえば、高島屋と東急ハンズだけでした。そして改札口は、南口とサザンテラス口を記憶しています。

今年4月オープンの新宿駅南口バスターミナル「**バスタ新宿**」を見てビックリしました。新潟行きだけでなく、静岡、信州、東北など多方面への出発口です。空港と見間違ふようなカウンターや案内板、やはり東京ですね。

JR改札口の名称も変わり、サザンテラス口 → 甲州街道改札へ新南口や、ミライナタワー改札もできました。今まで以上に新宿駅の迷路度がアップしました。

方向音痴な方は、南口からバスタを目指すのがお勧め。但し、南口から横断歩道を渡ると、バスタ2階に続きます。目指す外資系コーヒー店舗は1階ですが、バスタから1階に降りられません？バスタと、高島屋との間の、エレベーターを下り、新商業施設ニューマンのあるビルに目指す外資系店舗がありました。案内番が、全部英語表記のため、おじさま、おばさま方は皆ウロウロしてました。

（その1）目的の外資系コーヒー店は「ブルーボトルコーヒー」

皆さん、外資系コーヒーといえば、「スターバックス」ですね。今回行きたかったコーヒー店舗は、日本3番目「ブルーボトルコーヒー新宿店」です。新宿店は、全国で3店舗目、品川店が10月末にオープン予定です。

ロダン君の体験談は、

- ① スタバより、少し高めの料金設定のようです。
- ② 座る椅子は少なく、立ち飲み者も多い。
- ③ 注文と支払いが先。名前を聞かれます。
- ④ 名前と呼ばれ、コーヒーが渡されます。欧米人や中国人も多く呼ばれます。
- ⑤ スタットは、英語での会話もできます。
- ⑥ コーヒーは、ドリップ抽出方式。6つのマシンがフル稼働していました。
- ⑦ **ドリップの受けログラスを洗うのは、すごいマシンでワンプッシュ。**
(公園にある水もみ口からお湯が噴射。受け口を逆さにしてワンプッシュ。)
- ⑧ コーヒーは、飲み口の広い容器で提供されます。
- ⑨ 味は、薄めでおいしいですが、器が大きくて飲みきれませんでした。
- ⑩ 総合評価は良く、再訪したくなるお店でした。

(2) あの和風有名店が出したコーヒー店です。

そのお店は、バスタ2階にある「TORAYA CAFE AN STAND新宿店」です。
あんこで有名なあの「とらや」です。
「TORAYA CAFE」は、全国に6店舗。

ブルーボトルコーヒーを飲んだ直後の訪問のため、入店をあきらめ、
眺めるだけにしようとおもいましたが、お土産用品が目に入り、入店しました。
お土産用は、あんこの瓶詰めです。大小あり、600円～1200円までありました。

プチぜいたく品は、財布にやさしく、贈り物としてもよろこばれますね。
この次は、コッペパンにあんこ挟んだ、「モーニング」をいただきたいですね。

万代つばさグループ代表
発行者 八百板 誠

(税理士法人 万代つばさ 代表社員税理士)
(八百板誠行政書士事務所)

事 務 所 : 新潟市中央区下大川前通7ノ町2230番地 (8階建の1階奥です)

025 (228) 4697

編集者より 記事は独自の調査分析により書き上げております。

明示、黙示にかかわらず、発行者（当事務所）がこれを保証するものではありません。